

2022年12月28日(水) 第四水曜祈祷会

詩篇147篇1～20節

「御恵みを待ち望む者」

【詩篇147篇の概略】 \*「ハレルヤ」…「主(ヤハ)をほめたたえよ(ハレル)」という意味。

- ①ハレルヤで始まり、ハレルヤで終わる「ハレルヤ詩篇」と呼ばれるもの(146篇～150篇)
- ②全体は三部で構成される。各節の神への賛美で始まり、神の民の祝福をもって閉じる。
- ③捕囚の民がエルサレムに帰還して、エルサレムを再建し、平和が確保できた頃の詩篇。

【観察と黙想】

1. 離散の民を集める主(1～6節) \*「離散の民」…直接的にはイスラエルの捕囚の民

①詩人は主への賛美をどのように表現していますか。

→

②主が「建て」「集め」「癒し」「包まれる」とは何を意味していますか。

→

③「心の貧しい者」とはどのような人ですか(詩篇34:18、イザヤ61:1、マタイ5:3)。

→

2. 必要を満たされる主(7～12節) \*「濃い雲で天をおおい」…雨雲の到来を示す

④詩人はどうして「感謝をもって主に歌え」と言っていますか。

→

⑤「馬の力」「人の足の速さ」とは何を意味していますか(詩篇33:17、ホセア1:7)。

→

⑥「主を恐れる者」「御恵みを待ち望む者」とはどのような人のことですか。

→

3. みことばを送られる主(13～20節) \*「エルサレムよ」…聖都に集合した民への語りかけ

⑦詩人はどうして主をほめ歌えと言っているのですか(詩篇118:14)。

→

⑧詩人は「みことば」をどのように表現していますか(詩篇107:20)。

→

⑨19節、20節は、神の民のどんな祝福を語っていますか。

→

【適用と分かち合い】

- ①主はなぜ「心の打ち砕かれた者」「心の貧しい者」を顧みられるのですか。
- ②あなたにとって「賛美」「みことば」とは、どのようなものですか。
- ③今年一年を振り返って、あなたの「喜び、祈り、感謝」はどうでしたか。